

第94回（平成30年度第5回）番組審議会議事録

1. 開催日時：平成31年1月16日（水）午前10時00分～11時40分

2. 会 場：西宮市役所東館 8階 803会議室

3. 委員の出席： 委員総数：7名
出席委員数：7名

放送事業者側出席者 代表取締役社長：1名
副社長：1名
統括部長：1名
西宮市広報課：1名

4. 議題

番組内容についての審議

「まちたびラヂヲ 特別企画 西宮・芦屋の文化財をめぐる」

平成30年11月18日(日)9:00～12:30

FM放送を聴きながら文化財を巡る生放送の特別企画番組

5. 議事概要

社長より審議をお願いする等の挨拶。事務局より委員総数7名中7名の出席で、過半数出席、会は有効に成立している旨の報告。議事に入る前に前回審議会で委員から質問があった「市議会議員の出演と公職選挙法の関係について」「市民祭りでのアンケート集計」について出口副社長より報告があった。その後、議題に沿って各委員から意見をいただき、必要に応じて放送事業者側が説明・回答しながら進行。

6. 審議内容

番組の審議（発言要旨）

委員長：事務局よりの報告、回答について審議に入ります。お感じになった事を忌憚なく発言願いたい。

委員：番組内で今からの参加を呼びかけていたが実際に参加者はあったのか。現地の写真を紹介するなどはしたのか。

事務局：実際には現在からでも参加可能であるという程度の呼びかけであった。実際に番組開始時に聞いた参加者がいたのかどうかは把握できていない。ウォーク中の現場で撮影した画像は進捗状況の報告も兼ねて一旦スタジオへ送り、適宜 Facebook ページにも掲載した。

委員：途中参加は可能だったのか

事務局：参加は可能。以前に実施の際は番組のリスナーが実際に途中で参加したこともあった。

委員長：ウォーク参加者とラジオのリスナーの両方に向けているのでは中途半端な気がしたが。

事務局：両方のリスナーを100%満足させる作り方はできない。基本的にはウォーク参加者のための番組であるが、ラジオのリスナーにも満足していただけるように郷土資料館のスタッフは最大限の配慮をしてプログラムを作成している。

委員：芦屋市在住だが阿保親王塚のことは知らなかった。こうして聴くと実際に見てみたいと思った。

委員：「ブラタモリ」のラジオ版のようだと思った。土地の歴史がわかりやすく解説されていた。日曜午前なので歴史に興味のある小中学生も参加できると思うが当日参加者の年齢層は。

事務局：元々の文化財ウォークのファンも多く、やはり中高年が大多数であった。

委員：参加の定員は定めていないのか。多数になれば移動中の事故等の責任も出てくる。

事務局：現状は定員は定めていない。通常の文化財ウォークも含めて郷土資料館側ではある程度の人数までは対応可能と判断しているが、今後ラジオの影響で参加者が増えることになれば何らかの対応は協議しておく必要はある。

副社長：当日は北村、出口も一般参加した。何かあれば対応は可能ではあった。

委員：コースは決まっているのか。今回のコースで取り上げた文化財の年代はバラバラだがどういう基準で選んでいるのか。

事務局：コースは郷土資料館が設定している。年代はバラバラでも3時間で歩けるコース内に点在する文化財を紹介する趣旨である。

委員長：審議番組以外の意見だが、委員各位の関係で協力者があれば事務局へ連絡して番組表の設置、配布先を増やして欲しい。

委員：災害時の非常電源のバックアップは確保しているのか

社長：地下なので大水害の際は対応できないが、演奏所のビルには非常電源設備がある。

事務局：屋上の送信所には自家発電機と予備のガソリンを常備しているので半日程度は対応可能だが停電が長期に及んだ場合にはガソリンの補給が必要で、現在その方策を検討している。

議長は委員にその他特に意見がない旨を確認し、本日の審議会を終了し閉会する旨を述べる。

社長は審議会で意見を頂いた事への謝意を述べ閉会にあたって挨拶を行った。次回の審議会は平成31年3月12日午前10時00分と決定した。

議長は午前11時40分に審議会閉会を宣した。議事の経過を明確にするため議事録を作成し委員長及び出席委員の記名押印をする。

7. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法
近畿総合通信局への提出が完了次第「さくらFM」のホームページ
(URL <http://sakura-fm.co.jp/>) にて掲載。

平成31年1月16日
さくらFM株式会社